囲碁ボール&ペタンク

囲碁ボールは囲碁の盛んな土地、兵庫県柏原町生まれのスポーツです。

囲碁ボールマットの上でボールをスティックで打ちボールが止まった位置によって得点が決まります。囲碁ボールは、これまでの多くの競技の良い点を取り入れ、子供から大人まで楽しめるように考えられたスポーツです。

ペタンクは、フランスで生まれた誰でも楽しめる球技です。ビュットと呼ばれる目標に向かってボールを投げ、どれだけビュットの近くに投げられるか競争します。

どちらもルールは簡単で直ぐに覚えて、子供と大人が一緒にチームを組み競技開始すると、大人もその気になってきて本気モードです。「ヤッター」「残念」「惜しい」等の喚声でホールは賑やかになり、休憩をはさんで楽しい一時を過ごしました。

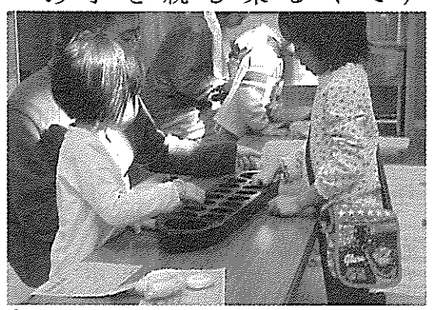
楽しいペタンクと囲碁ボール

木下翔太

ペタンクをしました。僕のチームは大人が二人いて、3対3でしました。僕の投げた球はビュットに近づきました。相手が近づいたらビュットをはじいたりしました。僕達が勝ち、とても楽しかった。その後囲碁ボールをやりました。狙った所に入らず、くやしかったけどいろんな人とゲームをして楽しかったので、次も参加したいです。

十月二十一日、松尾商工祭に合わせて、松ぼっくりで子供広場が開かれました。花や動物を作る人形風船、ボーリング、輪投げ、チョンカー、オセロ等色々なゲームに多くの子供連れの祖父母や親子連れが訪れました。一歳ぐらいの子供さんを連れたご夫妻が子供のために2人で教え合って風船で犬を作ったり、その犬に紐をつけて引っ張りまわすよちよち歩きの子供さん、大きい子達は自分で風船をふくらまし説明書を見ながらネズミを作ったりして楽しんでいました。

ボーリングや輪投げでは、上手にできた人には特別賞が出ると言う事で応援の声が飛び出したりして盛り上がりました。夫々のゲームを全部やると参加賞が貰え、楽しいひと時を過ごしていました。その他親子で色々なゲームをしたりして、良い親子のふれあいができたのではないでしょうか。

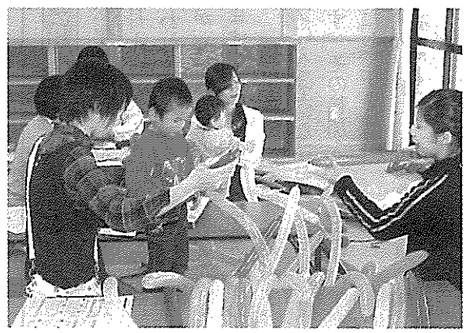


こどもの広場

おおしま あきの

私は、いとこのたくちゃんと弟のかずきと、子供広場に行きました。ボーリングをしたら、全部たおれました。オセロもしました。弟はやり方がわからないのでおしえてやりました。

風船でねずみと花を作りました。他に、くろひげきき一発もやりました。かいぞくが飛びはねてびっくりしました。ゲームがたくさん出来て楽しかったです。



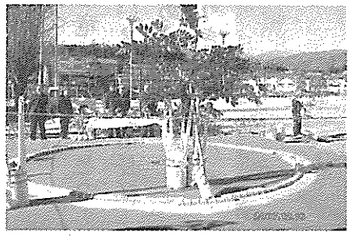
地区だより

新しい土俵完成

松尾小学校に新しい土俵が完成し、12月16日に土俵開き祭と引き渡し式がありました。

子供用まわしや少年相撲大会の優勝トロフィ等頂きました。

将来、この土俵よりの出身者が横綱、大関が誕生するのが夢です。



凧をとばしてみよう

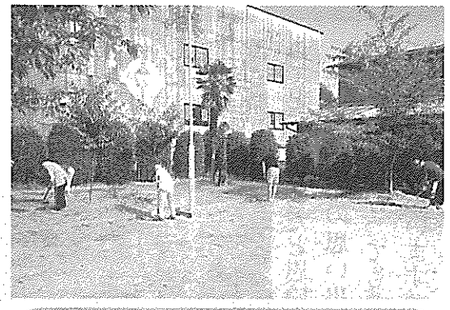
11月25日（日）高齢者双葉会の皆さんに教えてもらい松尾小学校グラウンドで凧を作ってとばしました。和紙に自分の好きな絵を描いて割り竹を貼って作ります。糸目と張り糸を上手に調整すると2時間位でとてもよく上がる凧ができ上りました。

明公園をきれいに

残暑厳しい日曜日の朝八時少し前から、三々五々明公園の掃除当番が草かきや鎌を手に集まり、それぞれに公園の掃除が始まりました。

明公園の掃除は、明区の皆さんが以前から続けている活動です。毎月一回行いますが、当番制になっていて二つの組合が順番で担当することになっています。夏場は草の成長が早く、広い公園は草がいっぱい伸びていて終了まで一時間余りかかってしまい、大変な作業です。

当番の皆さんは黙々と作業を行い、整理された公園になっていきました。



常盤台　新年会

去る一月五日、午前十一時から常盤台の児童九十五名の「新年会」が行なわれました。

毎年おんべ作りをしたあと、集会所で新年会を行なうのが恒例となっています。

六年生が先頭になり、「リーダーを探せ」、「ハンカチおとし」とゲームをして最後にビンゴ大会をして楽しいひとときを過ごしました。

しっかり遊んだあとは昼食の時間で、皆でおいしくいただきました。

その後解散となり、皆ビンゴでの賞品を嬉しそうにもって、それぞれの家路につきました。

久井どんど焼き

一月六日（日）午前六時、東の空より朝日が昇り始めようとしています。氷点下三・九℃の寒さの中、伝統の「どんど焼き」が行われました。児童数二〇名と少人数ですが前日に大人の人達と一緒に門松を集め飾りつけました。三〇分もすると程よく焼けたおきの上に竹に挟んだ餅が並び始めました。頬を真っ赤に染めた女の子が早速ほおばっていました。家で焼いた餅と違い、焼きすぎて真っ黒に焦げてしまってもどんど焼きで焼いた餅の味は格別の様子でした。

時代は変っても新春の伝統行事として後世に残して行ってほしいと感じました。